会議の経過	
開会年月日時刻	令和７年１１月２６日（水）　午後３時００分
閉会年月日時刻	令和７年１１月２６日（水）　午後４時２５分
会議の場所	館林市役所　研修室
会議次第	

１．　開会

２．　会議録署名委員の指名

３．　前回会議録の承認

４．　教育長事務報告

５．　議事

議案第４８号　館林市いじめ問題調査委員会委員の委嘱について

議案第４９号　特別支援学校就学助成金支給規則の制定について

議案第５０号　館林市文化会館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について　（非公開）

議案第５１号　館林市三の丸芸術ホール設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について　（非公開）

議案第５２号　たてばやし向井千秋記念科学館条例の制定について（非公開）

議案第５３号　令和８年度奨学資金（新規募集）貸与候補者の決定について（非公開）

議案第５４号　令和７年度教育費補正予算について　（非公開）

６．　その他

７．　閉会

会議の経過	
出席委員	第１番　井　上　美智子 第２番　堀　口　哲　哉 第３番　中　村　美江子 第４番　木　戸　浩　之 第５番　栗　原　　昇
欠席委員	第１番 第２番 第３番 第４番 第５番
提案説明のため出席した者	教育長　中　村　美江子 教育次長　戸　叶　俊　文 教育総務課長兼学校給食センター所長　木　村　和　好 生涯学習課長　森　田　秀　利 参事兼学校教育課長　平　井　智　久 文化振興課長　中　村　　豊 スポーツ振興課長　田部井　　修 向井千秋記念子ども科学館長　田　中　洋　子 図書館長　原　　幸　恵 総括係長　岩　瀬　美花里 書記　横　山　瑠璃子

会議の経過	
教育長	定刻となりましたので、館林市教育委員会定例会を開会いたします。 （午後３時００分） 本日の日程は別紙のとおりです。 次に、日程第２　会議録署名委員を指名します。 今回の署名委員は１番　井上委員、２番　堀口委員を指名いたします。 次に、日程第３　前回会議録の承認については、後日読んでいただき承認するものとしてよろしいでしょうか。 （委員から「異議なし」の声あり）
教育長	異議ないものと認め、そのようにいたします。 次に、日程第４　教育長事務報告をいたします。 一般事項（１）群馬県都市教育長協議会第３回定例会が、１０月２８日に本市役所で行われました。会議では「令和７年度群馬県都市教育長協議会役員選出について」が協議され、会長に伊勢崎市教育長が、副会長に前橋市と桐生市の教育長が、それぞれ選出・承認されました。続いて、一般事項（２）県市町村教育長協議会第２回定例会が、１１月１３日に群馬県庁で行われました。会議では、「ＧＵＮＭＡグローバル人材育成事業について」のほか、４件の連絡事項がありました。 私からの報告は以上でございます。 続いて、教育委員会各課の処理事務報告ですが、議案書に記載されている事柄について補足説明等必要なものがありましたら、説明をお願いします。何かございますか。 （事務局から「なし」の声あり）
教育長	それでは今回の事務報告について質疑がありましたらお願いします。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	３ページの生涯学習課の報告について、１０月１１日の人権尊重都市宣言記念講演会に私も参加しました。ハンセン病について理解を深めることができ、良い講演会でした。関連して、人権問題の課題となっている同和問題について、現在の市における取組を教えていただければと思います。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	同和問題につきましては、差別のない社会づくりを目指す様々な場を通じて正しい理解を促すこと、社会科を中心に同和問題を歴史的に正しく理解し、科学的・合理的な見方から身近な差別や偏見を進んで解消する力を身

会議の経過	
	に付けること、この２つの方向性で取り組んでおります。基本的に、社会福祉課では部落解放同盟への補助金交付、学校教育課では人権教育の年間指導計画の策定と計画的な人権教育の推進、生涯学習課では社会人権指導者養成講座の実施、こちらを１年間で全３回実施しております。内容といたしましては、人権教育を担当する立場の方を対象に、人権に対する意識を醸成するものです。具体的には、社会教育委員、公立の幼稚園や小中学校の人権教育担当主任教諭、市内の企業研修担当、公民館職員などです。今年は１回目、２回目共に終了しましたが、１回目は６４名の参加がありまして、昨年も今年も部落解放同盟の方に講師をお願いしております。
栗原委員	取組がわかりました。ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
井上委員	はい、教育長。
教育長	はい、井上委員。
井上委員	２ページの第１７回「私たちの書道作品展」の概要を教えてください。
教育総務課長	はい、教育長。
教育長	はい、教育総務課長。
教育総務課長	こちらにつきましては、記載のとおり申請者が小中学生等から書道作品を募って行うものです。具体的には、園児の部、小学生の部、中学生の部、一般の部ということで、一般には高校生と大学生も含んでおります。題材は自由で、１人１点応募するような形です。その中からいろいろな賞を決めて、表彰式と作品展示を行うというものでございます。４月３０日までとなっておりますが、例年展示はおおむね３月頃までとなっております。毎年教育委員会の後援事業として申請が上がってきております。
井上委員	館林市からも出展はあるのですか。また、出展料等はかかるのでしょうか。
教育総務課長	出展料は無料となっております。館林市からどの程度応募があるのかというのは特に上がっていないのですが、やはり太田市方面が多いのは確かでございます。館林市でも何点か出ているというのは以前確認したことがございます。
井上委員	わかりました。ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	４ページの１２月の行事予定で、１２月１９日に「カルピス®こども乳酸菌研究所」という事業がありますが、内容について教えていただければと思います。

会議の経過	
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	こちらはアサヒ飲料さんが提供している出前講座となっております。乳酸菌や酵母などの微生物の力や、カルピスの開発にかけた思いを体験する食育事業です。対象は市内の小学校１校、学年も５年生から６年生ということで全学校にお声かけをしたところ、３校から応募がありました。アサヒ飲料さんとで協議した結果、八小が当選という形で実施する予定になっております。
木戸委員	来年度以降もこちらは続いていくのでしょうか。
生涯学習課長	アサヒ飲料さんの出前講座ということで今回ご協力いただきましたので、今後もご協力をいただけるようであれば、今回漏れてしまった学校にもぜひ受けさせてあげたいと考えております。
木戸委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
堀口委員	はい、教育長。
教育長	はい、堀口委員。
堀口委員	５ページの中部公民館の報告に歴史散策講座という事業がありますが、どのような所を散策したのか教えていただければと思います。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	今年は日本遺産認定から７年目に当たります。里沼文化を深掘りしようということで、館林の醸造文化を訪ねてというテーマで日本酒と醤油に関連のある施設を回っております。具体的な場所を申し上げますと、毛塚記念館と正田記念館の２か所になっております。参加した方は熱心に解説に耳を傾け、メモを取ったり質問していたと伺っております。
堀口委員	ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	６ページ、三野谷民館では行事がたくさんある一方で、郷谷公民館では３つほどです。行事が多いと職員の方が大変ではないかと少々感じました。なぜ公民館によって差があるのでしょうか。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	今回三野谷公民館には２２事業が記載されておりますが、うち半分は上三

会議の経過	
	林のささらです。特に、今年は２年に１回の秋季例大祭ということで、昨年度より大々的に披露する年になっております。秋季祭の場合は神社で奉納するのみですが、今年は例大祭ということで、奉納をした後に上三林町の集会所まで歩いて移動し、集会所で披露して終わりという形になります。通常と比べて３時間ほど子どもたちも長く披露するということで、本番に向けた練習が重なっておりました。また、本来の少年少女教室は大体月１回のパターンが多いのですが、今回は分福や六郷との共催で２回実施しておりますので、そういった中でどうしても事業が集中してしまったものと考えております。以上です。
栗原委員	職員の方は大変ではないですか。
生涯学習課長	頑張っております。ちょうど公民館まつりと重なってしまうのですが、地域の方と協力しながら頑張っているところです。
栗原委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
井上委員	はい、教育長。
教育長	はい、井上委員。
井上委員	３ページ、１０月８日の第十小学校子育て講座という事業に６６名の参加があったようですが、こちらの詳細について教えてください。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	こちらは小学校新入学生の保護者を対象に毎年実施しているもので、子どもへの接し方など、家庭教育の基本を学んでいただくという内容です。生涯学習課の家庭教育指導員による講話を約２０分間聞いていただくのですが、どうしても調整が取れない学校等は動画を視聴して、１０分程度で学んでいただく形を取っております。
井上委員	わかりました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	８ページ、１０月９日の城沼公民館活動推進委員視察研修先が川場学園となっておりますが、どういった目的で視察されたのか教えていただければと思います。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	こちらは、コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的な推進に係

会議の経過	
	る文部科学大臣表彰を受けたということで視察しております。開校までの経緯や、川場村ふるさと人材の育成、学習環境などを視察したと伺っております。
木戸委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
堀口委員	はい、教育長。
教育長	はい、堀口委員。
堀口委員	７ページ、多々良公民館で１０月１３日に少年教室（サバイバルゲーム）とありますが、場所が松林等ということで、いわゆる普通のサバイバルゲームをされたのでしょうか。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	申し訳ございません。本来であれば補足説明の際にご説明するべきだったのですが、訂正させていただければと思います。実は、こちらはサバイバルゲームではなく、アドベンチャーゲームの間違いでございます。毎年親父クラブほか地元のボランティアの方の協力で行っております。例えばパズルや頭の体操、縄跳び、玉入れ、宝探しなどのゲームをクリアしながら早くゴールした班が景品を貰える形となっております。
堀口委員	わかりました。ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	１４ページの学校教育課について、校長会議でＩＣＴツールＣａｎｖａの導入についてという説明があったようですが、その内容と、導入後に期待する効果等を教えていただければと思います。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	こちらはＣａｎｖａという無料アプリの自治体版に関する内容です。このアプリは、例えば授業でスライドや観察記録ノートを作ったり、校務で行事案内や掲示板、各種お便りをデザインしたり、子どもが授業等で発表する時のポスターやスライドを作成したりできます。先日も部活動地域移行の担当がチラシを作成したのですが、そのチラシもＣａｎｖａを利用しました。全て著作権的に問題のない、その題材に適した写真や画像などを作成できるということで非常に使い勝手が良く、子どもが何か発表する時や、児童会や生徒会で啓発するポスターを作成する時など、いろいろな用

会議の経過	
	途に使えるアプリとなっております。期待する効果としましては、授業や校務の効率化、質の向上などが図れると考えております。
栗原委員	無料アプリということですが、危険性や著作権等の問題は本当にないのですか。
学校教育課長	こちらは自治体版ということで、安全性は確保されております。これまで個人で登録している先生もいらっしゃったのですが、個人よりは自治体で登録した方が良いだろうということで各学校に紹介して活用していただいているところです。
栗原委員	わかりました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
井上委員	はい、教育長。
教育長	はい、井上委員。
井上委員	関連して、出来合いの物を使いながらより良いものを作っていくと受け止めたのですが、自分で一から作っていくことと、外部ツールを用いながら作っていくことについて、先生や子どもたちが勘違いする懸念などはないのでしょうか。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	情報リテラシーの部分は、情報教育として子どもたちに指導しております。Ｃａｎｖａは特に問題ありませんが、いろいろな情報を取得する際には著作権や個人情報を出さないなど、そういった部分は子どもたちに指導しているところです。こちらは資料作成などに非常に適しているということで活用させていただいております。
井上委員	どこにいても全国同じようなことができるというのはとてもすばらしいことだと思うのですが、あまり便利になりすぎて、利用するための正しい知識が十分備わっていない段階で背伸びをして使っていいのかという心配がありました。
学校教育課長	例えば、里沼のことを皆に知ってもらおうという場合、里沼についていろいろな形で子どもたちは一生懸命調べると思います。それを発信する時にどうすればわかりやすいかというところで、手作りの模造紙を使う子もいれば、スライドを使って説明する子もいます。学習そのものは里沼の学習であって、アウトプットする時にどのような手段が良いかという選択肢の一つとして活用するものになります。必ずこれを使いなさいというわけではなく、一つの手段として子どもたちが有効に使っていけるといいなと思っております。

会議の経過	
井上委員	わかりました。ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	１５ページの児童生徒の不登校状況について、１０月は前年同月と比べて増えている状況です。この辺りの要因と、関連して１６ページの相談事業でも来所相談が増えておりますが、不登校との関連性があるかどうかも含めて教えていただければと思います。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	おっしゃるとおり、１０月は昨年に比べて２０人も増えてしまっておりますが、令和４年から令和５年にかけて、１０月だけを見ると２１人増えました。令和５年から令和６年は約４０人減りました。そして今回、令和６年から令和７年で２０人増えてしまったところで、その年によって増えたり減ったりとなっております。これが要因と断定はできないのですが、考えられることとして、例えば小学校では運動会が１０月下旬から１１月上旬にあり、どの子も運動会が好きというわけではなく、苦手な子もいれば練習が辛い子もおります。そういった行事があるというのも一つだと思います。小中学校では、この時期になると持久走という形で長距離を練習するようになります。体育の授業や、学校によっては２０分休みの時間に外に出て走る時間を設けているところもありますので、そういうところで増えているというのも考えられます。また、不登校で休んでいる理由だけで見ますと、学校生活でやる気が出ない子どもが昨年度に比べて１４人増えております。生活のリズムに不調を感じている子どもも１０人増えているので、そういったことも一つ、原因として考えられると思います。ただ、不登校の理由はそれぞれ異なりますので、今後大切なのは一人一人に寄り添って、適切な対応をしていくことだと思っております。もう１つ、相談事業につきまして、電話相談が３件ありました。１件は登校渋り、ほか２件は高校生のご家族から相談がありました。来所の方は、不登校が３５件、登校渋りが２２件ということで、ほとんどが不登校や登校渋りの相談でした。
木戸委員	もし、行事的なものが要因ということであれば、何かしら対策を講じていただければありがたいと思います。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。

会議の経過	
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	関連して、１２４人という数字ですが、男女比はどうなっていますか。また、男子と女子で特徴などがあれば教えていただければと思います。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育長。
学校教育課長	小学生は男子が２４人、女子が２１人、中学生は男子が３３人、女子が４６人です。小中合わせて男子が５７人、女子が６７人ということで、女子の方が１０人ほど多いような状況です。
栗原委員	何か特徴などはありますか。
学校教育課長	先ほど２つ説明しましたが、それらは全国でも県でも上位を占めている理由です。男子の上位３つと女子の上位３つでは１つ違いがありまして、男子の方には「生活リズムの不調」が入っていて、女子の上位３つには入っておりません。女子の方には「いじめを除く友人関係の問題」が入っていて、それは逆に男子の上位３つには入っておりません。これは少し特徴的な違いと感じております。
栗原委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
堀口委員	はい、教育長。
教育長	はい、堀口委員。
堀口委員	１１ページに列車内補導とありますが、補導内容のところに列車内での高校生や青少年の実態把握とあります。どのようなことを把握されたのか教えていただければと思います。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	時代なのかもしれませんが、スマホを見ている学生が多い印象でした。会話をするなど楽しそうな子はいましたが、車内そのものは静かで騒いでいるような学生はおりませんでした。どちらかというと、補導活動としつつも活動による不審者への抑止力の方が大きな役割を果たすと考えております。
堀口委員	ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	１６ページの教育研究所の報告について、１０月に教育相談の初級と中級の研修講座が開催されています。それぞれの級における先生方の取得率を

会議の経過	
	教えていただければと思います。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	７年度は申請中のため、６年度現在で報告させていただきます。初級の取得率は９４．４％で、人数でいうと３８８名です。初任者研修の時に講座を受講して、２年目で初級を取得している先生が非常に多いです。中級の方は５．５％、人数でいうと１４名です。上級は１．２％、人数でいうと５名になります。
栗原委員	初級は非常に普及しているようなので、忙しいとは思いますが、更に中級など上を目指してエキスパートを育てていただき、その方々が教育相談の中核になっていただければと思います。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
井上委員	はい、教育長。
教育長	はい、井上委員。
井上委員	同じく１６ページ、１０月３１日にふれあい学級親子調理とあります。参加者が多かったようですが、どのようなことをされたのでしょうか。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	ふれあい学級の親子調理を通して親子の触れ合いを深めるということで実施しております。例年は１１月下旬にクリスマスケーキ作りをしているのですが、今年度は野外活動を１２月に行い、１２月の行事が増えてしまうので、その関係で１０月下旬にハロウィンケーキを作ろうということで実施しました。対象はふれあい学級に通っているお子さんと、市内の思うように学校に登校できないお子さん等です。学級の方は親子で５組、子どものみの参加が１名です。市内小中学校の親子は５組、小学生が３組で中学生が２組でした。合計２１名の親子が参加して、思い思いのケーキを作って、出来上がった時には嬉しそうな顔でケーキを持ち帰っていました。
井上委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	３４ページの給食センターについて、１０月に食に関する指導でいろいろな学校に指導に行かれているなと感じました。指導で目指していることや指導した効果について、児童の反応などから教えていただければと思います。

会議の経過	
学校給食センター所長	はい、教育長。
教育長	はい、学校給食センター所長。
学校給食センター所長	食に関する指導、いわゆる食育は、栄養教諭が全学校・全学級へ行くという目標を掲げて行っております。実際、そのように毎年行っているのですが、やはり学校の先生ではなく栄養教諭が行って専門的な話をすると、児童生徒も耳を傾けてよく聞いているそうです。その効果もあり、給食もよく食べると聞いております。家庭に帰ってどうなのかを把握することはなかなか難しいですが、例えば給食の残菜が少なくなるなどの効果があって、将来的には生活習慣の改善にもつながっていくのではないかと考えております。
栗原委員	わかりました。大変ですが、引き続きよろしくお願いいたします。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	２１ページの１２月行事に「たてばやしウォーク２０２５第１回新日本歩く道紀行１００選めぐり」とありますが、次回開催地の詳細と、館林市周辺ではどちらが１００選に選ばれているのかを教えていただければと思います。
スポーツ振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、スポーツ振興課長。
スポーツ振興課長	まず、館林市には新日本歩く道紀行１００選に選ばれました３つのコースがございます。１つ目が、今回のコースとなっております多々良沼周辺での夕陽と彫刻の小径コースです。２つ目が、城沼周辺の歴史・文化と朝陽の小径コース、３つ目が、茂林寺沼周辺の自然と童話のふるさとの道コースでございます。次回の予定につきましては２月２３日（月）、祝日になりますが、茂林寺沼周辺の自然と童話のふるさとの道コースを予定しております。また、館林市周辺のコースとしましては、大泉町のいずみ緑道花と芸術の散歩道コースや、足利市の足利氏ゆかりの社寺めぐりコースと足利七福神めぐりコース、それと小山市の渡良瀬遊水地と水郷の自然と歴史コースなどがございます。
木戸委員	わかりました。ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
堀口委員	はい、教育長。
教育長	はい、堀口委員。
堀口委員	１８ページ、１２月２０日に里沼ヨシ工作スタッフ養成講座があります

会議の経過	
	が、何名程度が参加予定なのでしょうか。
文化振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、文化振興課長。
文化振興課長	今年度のスタッフ養成講座の受講生は４名となっております。こちらの講座は昨年度からスタートしているのですが、小中学校や公民館でヨシを利用した工作教室を頻繁にやっていただいておりまして、その指導者を養成しようと５回シリーズで実施しているものです。この１２月２０日については、５回シリーズが終了した後、冬休み期間中に小中学生向けの工作教室を文化会館で主催する際にこちらの受講生の方に指導者として協力をいただく目的でございます。今回は１２月２０日以降も学校で教えてみたいという熱心な方がいらっしゃいまして、今後はそういった指導者が活躍できるようなサポートを進めていきたいと考えております。
堀口委員	ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	３１ページの科学館について、館外活動累計の縦軸と横軸の数字が合わない気がするのですが、いかがでしょうか。
向井千秋記念子ども科学館長	はい、教育長。
教育長	はい、向井千秋記念子ども科学館長。
向井千秋記念子ども科学館長	館外活動の大人の累計を３７５と記載してしまったのですが、実際には２７５の間違いです。私の確認が不十分だったところで、訂正させていただきたいと思います。申し訳ございませんでした。
栗原委員	２７５が合っているということですね。ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	２９ページ、市外の学校等利用が多くなっております。例年、１０月は多い傾向がありますが、その要因を教えてください。また、市内も合わせると約３０件ということで、２７日間の営業日の中では日にちが被ることも当然あると思うのですが、そういった日程調整等でお断りするようなケースもあるのかどうかを教えてください。
向井千秋記念子ども科学館長	はい、教育長。
教育長	はい、向井千秋記念子ども科学館長。
向井千秋記念子ども科学館長	１０月と１１月は校外学習やバス旅行、遠足等の学校行事で大変利用が多

会議の経過	
	くなる時期です。その中で、今まで断ったというのは私のところには報告が上がっておりませんので、うまく調整ができていると考えております。プラネタリウムと展示の両方を利用して帰られる団体もあれば、展示だけ見学してまたほかの施設に行くということで、時間が限られている場合はプラネタリウムを観覧せずに帰られる団体もありますので、どうにかうまく調整できております。予約も早めに入れてくださっておりますので、断るということは現状ではないと認識しております。
木戸委員	わかりました。ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
井上委員	はい、教育長。
教育長	はい、井上委員。
井上委員	５ページに戻りまして、１０月２３日、大島公民館で学社連携講座（事前学習）という事業がありますが、どのようなことをなさったのでしょうか。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	こちらは足尾鉱毒事件と環境問題をテーマとしまして、第四小学校６年生を対象に行っているものです。大島地域の歴史や鉱毒被害、渡良瀬川流域の環境問題について学習するもので、児童が対話形式で主体的に学ぶという内容です。田中正造記念館の講師の方には講師方式ではなく、対話方式で児童に加わっていただく形で関わる講座となっております。最終的には３回目に現地学習をする予定ですので、そのための事前研修となります。
井上委員	ちなみに、現地学習はどちらに行かれるのですか。
生涯学習課長	足尾銅山です。
井上委員	わかりました。ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	３３ページの図書館について、施設見学の欄に「たてばやし探検１ＤＡＹＷｉｔｈ高校生」とありますが、こちらについて教えてください。
図書館長	はい、教育長。
教育長	はい、図書館長。
図書館長	こちらは生涯学習課主催事業の施設見学を受け入れたものです。3ページの下段、１０月２８日に群馬県民の日特別企画という記載がありますが、こちらの受入れになっております。２３名の参加者と４名の引率がいらっしゃったので２７名となっているものでございます。この事業は、子ども

会議の経過	
	たちの居場所づくりと市の施設見学を通して郷土愛を育むことを目的に、小学生を対象とした事業となっております。館林女子高校の学生ボランティアと一緒に施設の見学やウォークラリーを行ったようです。午前中に図書館とカルピスホールのバックヤードを見学したということで、図書館においても書庫やバックヤードのご案内をさせていただきました。
木戸委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
井上委員	はい、教育長。
教育長	はい、井上委員。
井上委員	６ページと７ページに戻ります。少年教室が三野谷公民館や多々良公民館にありますが、どのような子どもたちが対象で、どのような目的で行っているのでしょうか。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	こちらの少年少女教室は、全ての公民館で実施しているものです。年度当初に各地域の小学校に募集をかけまして、基本的には１年生から６年生まで、状況によっては３年生から６年生という形で募集する場合もあります。事業によっては兄弟で参加もできますので、そういった形で子どもたちの育成を図ることを目的に行っております。今回は三野谷と多々良公民館ということで、それぞれ１年間の中で計画した様々な体験を通して、子どもたちにたくさんのことを勉強してもらう形で実施しております。
井上委員	家庭教育学級とはまた違った講座ということですか。
生涯学習課長	家庭教育学級は、どちらかというとお子さんの保護者を対象に実施しております。ただ、実際に年間計画を保護者の方が集まって話し合いますと、どうしてもお子さんの話題になる傾向があります。例えば、夏休み期間なら夏休みの宿題について、冬休み期間は冬休みの宿題について、先生をお呼びして子どもたちに宿題をやっていただき、保護者も一緒に参加してその様子を見るといった形です。ですので、子どもたちかその保護者か、対象が異なる形でそれぞれ行っております。
井上委員	わかりました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	３６、３７ページの給食の献立表について、数か月前からレイアウトが変わったようで主食が分けて表記されるようになりましたが、見てみると今

会議の経過	
	の給食にはうどんがないことに気づきました。何となくうどんは地元の食文化だと感じているのですが、献立を決めるにあたって、人気がないのかどうかと、どういった理由でないのかを教えていただければと思います。
学校給食センター所長	はい、教育長。
教育長	はい、学校給食センター所長。
学校給食センター所長	パックうどんは令和５年まで市内のクリタ食品さんがパックにしてくださっていたのですが、機械が老朽化したためもう対応できないということで取れなくなってしまいました。苦肉の策として、県の学校給食会から取ることにしたのですが、給食会は県内全域なので頻繁に出せないと言われてしまっております。ですので、パックうどんが出せるのは各学期に１回程度となります。ただ、その他の麺、ラーメンや煮込みうどんは別として出している状況でございます。ただ、頻度はご飯ほど多くありません。
木戸委員	わかりました。ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
井上委員	はい、教育長。
教育長	はい、井上委員。
井上委員	給食に関連して、子どもたちがとても給食を楽しみにしていて、某小学校では給食の壁新聞が作られていて、給食のランキングがありました。揚げパンが圧倒的で、次がＡＢＣスープです。ほかはクラスによって違っていましたが、その中に若鶏のマリネがありませんでした。子どもたちに聞いてみたところ、今は若鶏のマリネはなく違う形で提供されているといった話を聞きました。不確かな情報なのですが、実際はどうなのでしょうか。
学校給食センター所長	はい、教育長。
教育長	はい、学校給食センター所長。
学校給食センター所長	やはり子どもたちは敏感ですね。確かに、以前は若鶏のマリネを毎月のように出していたのですが、今年は４月、６月、１１月、そして３月に提供予定ですので機会は減っております。その理由は、最近マリネの時の残飯がやや多いという統計が取れていましたので、例えば海苔の塩味など少しバリエーションや味を変えて残飯が少なくなるように、皆さんにたくさん食べてもらえるように、メニュー献立会議で工夫をしております。これは学校の先生も入っての献立会議ですので、その中で残飯が多いということで、少し工夫をしているというところでございます。
井上委員	意外な回答でした。ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
井上委員	はい、教育長。

会議の経過	
教育長	はい、井上委員。
井上委員	２８ページ、「科学館で５　・７　・５あなたの一句大募集！」入選作品展示とありますが、どのような作品があるのか教えてください。
向井千秋記念子ども科学館長	はい、教育長。
教育長	はい、向井千秋記念子ども科学館長。
向井千秋記念子ども科学館長	こちらは、俳句を通じて科学や星空への興味・関心を高めていただくことを目的に実施しております。小学生以上を対象に夏休み期間中に募集させていただきました。１人１点としまして、今年は北海道から鹿児島県まで、３２０点の応募がありました。入選作品を決める際には、科学館に来たお客様にも投票していただく「みんなの賞」というのを設けております。そのほかにも、館長賞やスタッフ賞、柊俳句賞などがございます。そちらの作品を館内に全て貼り出しております。中には向井さんに関する入選作品もありまして、「むかいさん「あなたもなれる」とめがあった」という小学生が詠んだ非常に良い作品でしたので、向井名誉館長にも入選作品を参考に送らせていただきました。これからも続けていきたい事業だと考えております。
井上委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。 （委員から「なし」の声あり）
教育長	ないようですので、事務報告は記載のとおり承認するものとしてよろしいでしょうか。 （委員から「異議なし」の声あり）
教育長	異議なしと認め、記載のとおり承認するものといたします。 次に、日程第５　議事に入ります。 議案第４８号　館林市いじめ問題調査委員会委員の委嘱についてを議題といたします。このことについて説明をお願いします。
学校教育課長	（別紙資料に基づき説明） 提案理由等：　館林市いじめ問題調査委員会委員の任期満了に伴い、令和７年１２月１８日付けで委員の委嘱をしようとするものである。
教育長	ありがとうございました。ただいまの説明について、質疑等がありましたらお願いします。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	バランスの取れた構成だと思います。質問ですが、令和７年１２月１８日

会議の経過	
	からいつまでの任期でしょうか。また、再任の方が３名ということでしたが、再任は妨げないということでよろしいでしょうか。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	任期は２年間となっております。おっしゃるとおり再任は妨げず、法律、医療、心理、福祉、教育の分野から５名以内で組織する形になっておりますので、こちらの５名を委嘱させていただけたらと考えております。
栗原委員	わかりました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。 （委員から「なし」の声あり）
教育長	それではお諮りします。本案につきましては原案のとおり決定するものとしてよろしいでしょうか。 （委員から「異議なし」の声あり）
教育長	異議なしと認め、本案は原案のとおり決定いたします。 次に、議案第４９号　特別支援学校就学助成金支給規則の制定についてを議題といたします。このことについて説明をお願いします。
学校教育課長	（別紙資料に基づき説明） 提案理由等：　学齢児童生徒就学奨励規則の全部改正に伴い、改正後の就学援助費支給認定規則とは趣旨が異なることから、特別支援学校就学助成金の支給に係る本規則を制定しようとするものである。
教育長	ありがとうございました。ただいまの説明について、質疑等がありましたらお願いします。 （委員から「なし」の声あり）
教育長	それではお諮りします。本案につきましては原案のとおり決定するものとしてよろしいでしょうか。 （委員から「異議なし」の声あり）
教育長	異議なしと認め、本案は原案のとおり決定いたします。 次に、議案第５０号から議案第５４号につきましては、館林市教育委員会会議規則第１７条第１項により非公開としたいと思いますが、非公開としてよろしいでしょうか。 （委員から「異議なし」の声あり）
教育長	異議なしと認め、ただいまから教育委員会を非公開とします。 該当者については、一時退室を願います。

会議の経過	
	【傍聴人　退室】 （非公開） 【傍聴人　入室】
教育長	次に、日程第６　その他で何かございますか。 （委員等から「なし」の声あり）
教育長	ないようですので、以上で本日の全日程を終了します。 これにて教育委員会を閉会いたします。　　（午後４時２５分）